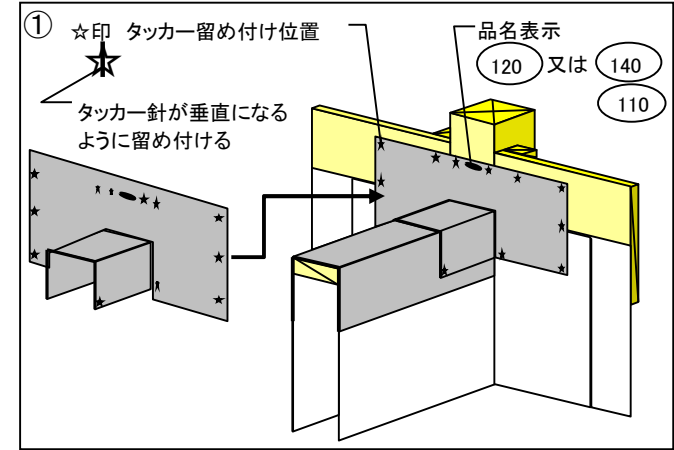
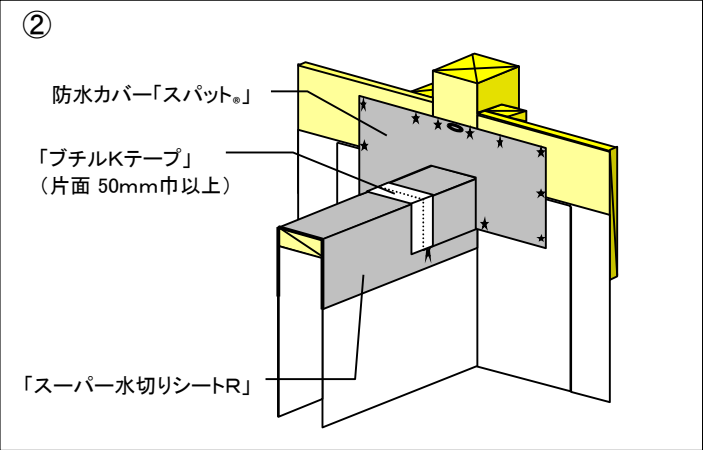
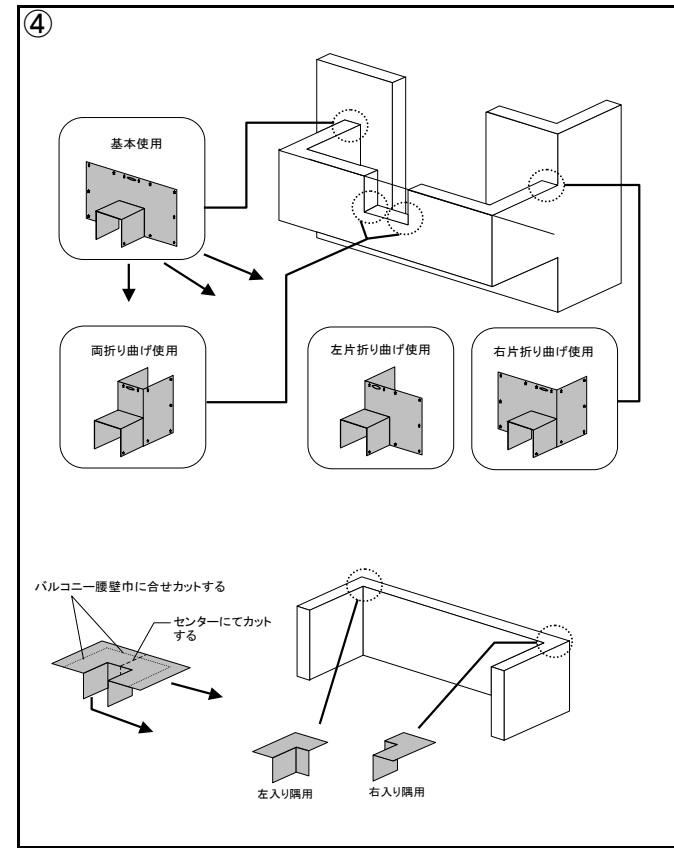
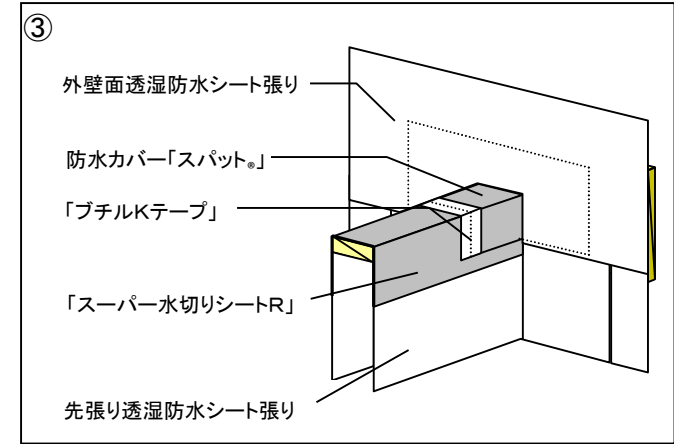


● 防水カバー「スパット。」 施工手順



①防水カバー「スパット。」の取り付け
防水カバー「スパット。」を外壁躯体壁とバルコニー腰壁の
取り合い部に 取り付け。留め付けは、防水カバー
「スパット。」内の☆印の位置にタッカーにて留め付ける。



②防水カバー「スパット。」と「スーパー水切りシートR」
重なり部の防水処理
「ブチルKテープ」(片面)50mm巾以上を用いて防水カバー
「スパット。」とバルコニー腰壁部の「スーパー水切りシートR」を
隙間ができないように密着させる。

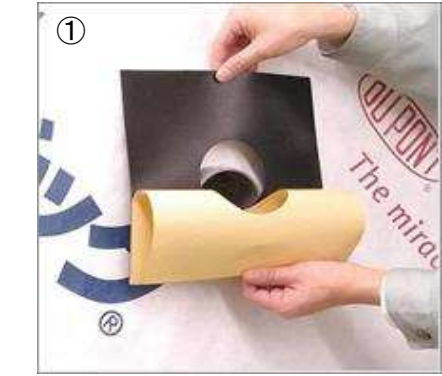
③外壁面の透湿防水シートの施工
防水カバー「スパット。」及び 先張り透湿防水シートが
所定の重なりが得られるように外壁面透湿防水シート
を覆いかぶせて張り付ける。

④ 防水カバー「スパット。」は基本使用及び左片折り曲げ使用/
右片折り曲げ使用/両折り曲げ使用と、バリエーションに富
んだ使い方ができます。
尚、左片折り曲げ使用/右片折り曲げ使用/両折り曲げ使用
の施工要領については基本使用例の施工要領に準じておこ
なうものとします。

⚠ 防水カバースパット。使用上のご注意

- ・施工時にカッター等の道具でキズや切れ目を付けしないで下さい。
裂ける恐れがあります。
- ・留め付けるタッカー針は肩幅10mm、足長が6mm程度とします。
- ・スパット。の留め付けはタッカー針にて☆印指定位置に留め付けて
下さい。
- ・有機溶剤等が付着しないように注意して下さい。
- ・土足で上がらないで下さい。キズを付けたり、滑る危険があります。
- ・施工後、60日以内に外壁工事を完了して下さい。
- ・使用用途以外は使用しないで下さい。
- ・雨風、直射日光を避け室内で保管して下さい。
- ・火気に近づけないで下さい。

● ハイパット。P-75S・P-100S・P-125・P-150S 施工手順



①ハイパット。の
剥離紙をはがし、
粘着層を透湿防水
シート側に向けます。



②ハイパット。の丸
穴を押し広げ、パ
イプに装着します。
その際ハイパット。
の開口部が裂けな
い様に注意して取
り付けます。

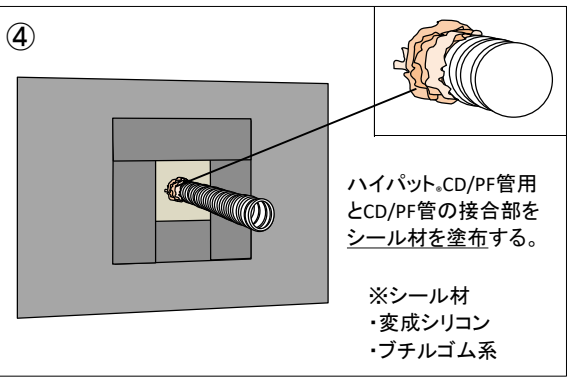
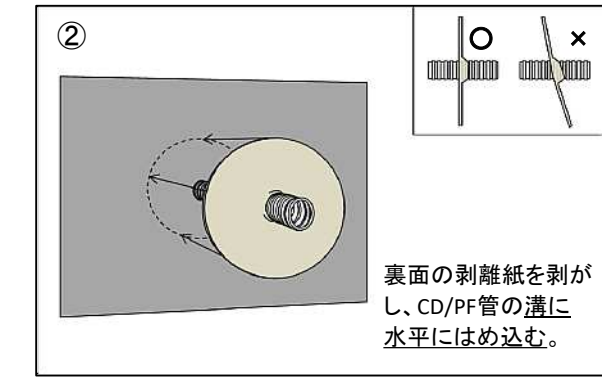
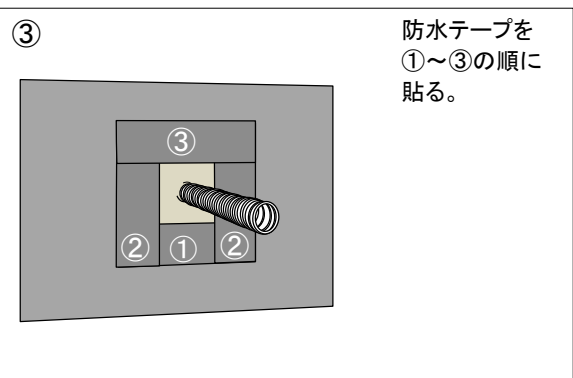
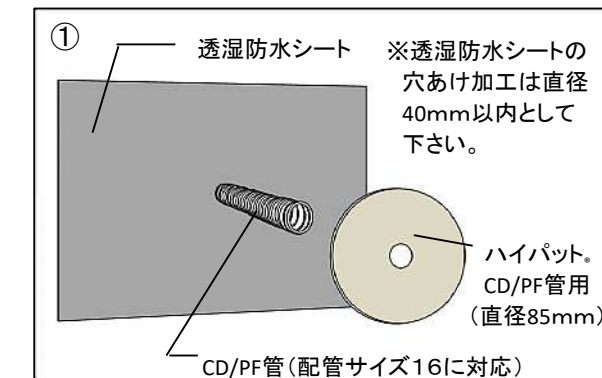


③ハイパット。の裏
面の粘着層をパイ
プに圧着して、更
に透湿防水シート
に密着させます。



④ブチル系防水
テープでハイパット
。の下辺、左右、上
辺の順に透湿防水
シートに密着させ
ます。

● ハイパット。CD/PF管用 施工手順



⚠ ハイパット。使用上のご注意

- ・施工時にカッター等の道具でキズや切れ目を付けしないで下さい。裂ける恐れがあります。
- ・硬質塩ビ換気パイプ以外の、変形したり、表面に凹凸や溝のあるもの、柔らかく締付けの効かないパイプやダクト等には使用できません。
- ・施工後60日以内に外壁工事を完了して下さい。
- ・使用用途以外は使用しないで下さい。
- ・雨風、直射日光を避け室内で保管して下さい。
- ・火気に近づけないで下さい。

● スーパー水切りシートR 施工手順
サッシ下端(窓台廻り)の施工

図1

伸ばし部分 150mm程度

開口部巾

外壁側

室内側

「スーパー水切りシートR」

伸ばし部分 150mm程度

図2

開口部巾

外壁側

室内側

「スーパー水切りシートR」

カットするしるし線

窓台の室内面までの寸法

図3

外壁側 本留め2ヶ所(垂直に)

室内側 仮留め2ヶ所

立上り部

高さ50mm程度離す

「スーパー水切りシートR」

立上り部

図4

「ブチルK-Fit™テープ」で隅部中央に隙間なく密着させる。

外壁側

室内側

窓台開口部巾に水返しバックアップ材を取付けタッカー針で固定することを推奨します。

「スーパー水切りシートR」

※「透湿防水シート」

※タッカー針本留め(垂直に)(スーパー水切りシートRの下部に3〜4カ所程度)

図5

外壁側

室内側

「スーパー水切りシートR」

立上り部

サッシ枠

50mm程度離す

タッカー針本留め(窓台に平行)

水返しバックアップ材(推奨)(厚み5.5mm合板等)

透湿防水シート

窓台

1. 「スーパー水切りシートR」を開口部巾より300mm以上(片側150mm程度)伸ばしてカットします。

2. 上図1で「スーパー水切りシートR」の開口部巾より伸ばした部分に窓台の室内側までの寸法を取り、開口部枠の隅部より水平にしるし線をつけ(—)、しるし線部をカットします。

3. 図3のように「スーパー水切りシートR」を窓台側に折り曲げて、立上がり部の室内側及び外壁側下部にタッカー針にて仮留めします。尚、立上り部の外壁側は本留めとします。次に開口部枠の隅部に「ブチルK-Fit™テープ」を隅部中央にまたがるように貼り密着させます。このとき、隅部にシワが入らないように伸ばしながら貼り付けます。

4. 図5で「スーパー水切りシートR」に破損が生じないようにサッシ枠を取り付けます。※サッシ枠取付後に図5のように「スーパー水切りシートR」の室内側窓台に水返しのためのバックアップ材を取り付け固定し、タッカー針にて本留めすることを推奨します。尚、外壁側のタッカー針の本留めは「スーパー水切りシートR」の下側に透湿防水シートを窓台上部まで差し込んでから行います。

①「スーパー水切りシートR」の鞍掛け
「スーパー水切りシートR」をバルコニー笠木下地材に鞍掛けて留め付ける。

① 水切りシート位置、カット図

「スーパー水切りシートR」
SR-30、SR-40S又は、SR-50

A寸法 B寸法 C寸法

A寸法=B寸法=C寸法

120mm

入り隅防水カバー巾(120mm)に
合せてカットする

腰壁内側に合せて
カットする

出隅部水切りシートは
左図のようにして
折り込む

※「スーパー水切りシートR」をカットする際、他の防水シート(下側の「スーパー水切りシートR」、透湿防水シート等)に切りキズをつけないようにカットする。

③防水カバー「スパット®」の取り付け
二つにカットした防水カバー「スパット®」を下図のようにバルコニーの各入り隅にセットする。

③

左入り隅用

右入り隅用

カットした防水カバー「スパット®」を左右の入り隅にセットする。

④防水カバー「スパット®」と「スーパー水切りシートR」の重ね合せ部の防水テープ貼り
「ブチルKテープ」(片面) 50mm巾以上を用いて防水カバー「スパット®」とバルコニー腰壁部の「スーパー水切りシートR」の重ね合せ部をスキ間ができないように密着させる。

②防水カバー「スパット®」をカットする。
下図のように防水カバー「スパット®」をカットする。

②

バルコニー腰壁

バルコニー

左入り隅用

右入り隅用

腰壁巾に合せカットする

センターにて
カットする

120mm

防水カバー「スパット®」

④「ブチルKテープ」(片面)巾50mm以上を貼り、密着させる。
(1から4は、防水テープ貼り順序を示す)

「スーパー水切りシートR」

2

4

3

1

2

3

1

②でカットした防水カバー「スパット®」

- ⚠ **スーパー水切りシートR使用上のご注意**

 - ・「スーパー水切りシートR」は、**両面どちらでも施工が可能です。**
 - ・留め付けるタッカー針は肩幅10mm、足長6mm程度とします。
 - ・タッカー針を留めつける際は「スーパー水切りシートR」を破らないように真っ直ぐに留め付け
タッカー針の頭が「スーパー水切りシートR」にめり込んだり、浮き上がらない様に留めて下さい。
 - ・施工後「スーパー水切りシートR」の上に乗らないで下さい。すべる危険があります。
 - ・施工後、60日以内に外壁工事を完了して下さい。
 - ・使用用途以外には、使用しないで下さい。
 - ・雨風、直射日光を避け室内で保管して下さい。

